

◆団体基本情報

No.	3	種別	社会福祉法人	団体名	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会		
所在地	〒980-0022 仙台市青葉区五橋二丁目12番2号						
電話番号	022-223-2010		FAX番号	022-262-1948		所管 部局	健康福祉局 社会課
団体ホームページ	http://www.shakyo-sendai.or.jp/n/						
代表者職氏名	会長 山浦 正井			設立年月日	昭和34年12月18日		
基本財産等	6,000 千円		市の出捐額(割合)	0 千円 (0.0 %)			
設立目的	仙台市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動支援 ・ボランティア活動振興 ・福祉学習の推進 ・日常生活自立支援 ・生活福祉資金等の貸付 ・高齢者・障害者施設等の運営 ・福祉総合相談 ・介護保険事業の運営 ・福祉人材の育成 ・福祉団体の活動支援 						
評価対象決算期	令和5年4月1日～令和6年3月31日						

◆人員等の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
②常勤役員平均年齢	68.0 歳	69.0 歳	69.5 歳
③常勤役員平均年間報酬	3,439 千円	3,439 千円	5 千円
④職員数	266 人	263 人	252 人
うち市派遣	1 人	0 人	0 人
市退職者	7 人	10 人	10 人
⑤職員平均年齢	49.1 歳	49.0 歳	48.9 歳
⑥職員平均年間給与	3,917 千円	4,004 千円	4,077 千円

◆主要財務データ

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①事業活動収支差額	△ 23,704 千円	△ 141,425 千円	△ 4,974 千円
②経常収支差額	△ 20,788 千円	△ 138,489 千円	△ 1,411 千円
③当期一般正味財産増減額	△ 24,463 千円	△ 118,738 千円	△ 9,032 千円
④一般正味財産期末残高	358,230 千円	343,458 千円	343,678 千円
⑤指定正味財産期末残高	526,145 千円	543,686 千円	534,742 千円
⑥正味財産期末残高	884,375 千円	887,144 千円	878,420 千円
⑦長期借入金残高	12,863 千円	12,857 千円	12,857 千円

◆市の財政的関与

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①市からの補助金	506,077 千円	517,499 千円	544,641 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	868,594 千円	904,070 千円	939,878 千円
③市に対する収入依存度	73.41 %	75.40 %	79.65 %
④市からの借入金	12,863 千円	12,857 千円	12,857 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和5年度事業費
地域福祉活動推進事業	・ 第5次地域福祉活動計画の推進 ・ 地区社会福祉協議会への活動支援及び活動助成等 ・ コミュニティソーシャルワーカー（CSW）設置等による包括的支援体制の構築等	406,203 千円
福祉プラザ管理運営事業	・ 仙台市福祉プラザの管理運営	215,412 千円
地域包括支援センター運営事業	・ 地域包括支援センター4ヶ所の運営	190,921 千円
老人福祉センター管理運営事業	・ 老人福祉センター4館の管理運営	171,468 千円
日常生活自立支援事業	・ 日常生活自立支援事業の実施 ・ 仙台市成年後見総合センターの運営等	156,910 千円
通所介護事業	・ 通所介護（デイサービスセンター）3ヶ所の運営	128,937 千円
ボランティア活動振興事業	・ ボランティア活動推進にかかる事業 ・ 子どもの居場所づくり支援事業 ・ 障害理解促進事業等	73,897 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	本会は、社会福祉法に規定された団体であり、住民主体の理念に基づき、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現のため、各種事業を実施している。地域福祉を取り巻く状況の変化がさらに進み、様々な地域課題への対応が求められているなかで、地区社協による見守りやサロン等の小地域福祉ネットワーク活動の推進、ボランティア活動の推進、日常生活自立支援事業など、社会福祉法の主旨や市が本会に期待する役割を十分認識したうえで、各種事業に取り組んできた。	少子高齢化や単身世帯の増加、生活様式や価値観の多様化により地域の福祉力向上の必要性が高まる中、住民や関係機関等と連携し、地域の福祉課題解決に向けた取組みを計画的に推進している。地域の福祉課題はより複雑化しており、今後も地域の福祉ニーズに即した事業を展開していただきたい。
2. 業務・組織管理	業務管理の面では、ICT機器を活用したWeb会議やオンライン研修をはじめ、タブレット端末やWi-Fi環境の整備、クラウド型の勤怠管理システムの導入により、情報共有の迅速・効率化、業務効率化を図った。 人材育成の面では、令和6年3月に人材育成方針を策定した。本会はこの方針を基盤として職員の資質向上に取り組む、組織体制を活性化し地域福祉の一層の推進を目指していく。	DXをはじめとして業務の効率化を図り、法人経営の管理体制の強化を引き続き推進していただきたい。また、人材の育成を図りながら、地域福祉を推進する中核的な団体として、住民ニーズや社会情勢の変化に迅速に対応できる事業運営に取り組んでいただきたい。
3. 財務状況	定年退職者の退職積立分の補助金、委託料の増、障害者相談支援事業の消費税にかかる補助金や受託料の追加交付等により、収入全体に占める仙台市からの補助金・委託料収入の割合が増加し、依存度が上昇した。会費・寄附金収入等の自主財源が減少傾向にあることから、今後、募集強化に取り組むとともに財源充当の見直しを行い、経営基盤の安定を図っていく。	基金への積み立てにより経常収支が大幅なマイナスとなった前年度に比べ収支は改善している。 個人会員が減少傾向にある中、今後は法人会員の募集に重点的に取り組むなど、会費・寄付金収入の確保に向け、社協活動の理解に資する周知啓発の強化等に取り組んでいただきたい。また、他政令市社協の財務状況等も参考としながら、自主財源の一層の確保に向けて検討いただきたい。
4. 今後の方向性及び課題	地域課題がますます多様化・複雑化するなかにあつて、地域包括ケアシステムの構築や生活困窮者への支援等は、本会としてはその中核を担うべき重要な課題として受け止め、関係機関・団体との連携のもと、全ての人が地域で支え合いながら暮らしていける地域共生社会の実現を目指していく。 第5次地域福祉活動計画に掲げた目標達成に向け、引き続き地域福祉の推進に取り組んでいくとともに、令和5年3月に策定した「中期経営計画2023」に基づき、組織管理体制の強化、職員の資質の向上と人材確保、経営基盤の安定強化に取り組んでいく。	令和5年度はコミュニティソーシャルワーカーの活動実績値(1,125件)が地域福祉活動計画上の目標値(976件)を上回り、地域課題の解決に精力的に取り組んでいただいております。引き続き目標を上回る活動を期待したい。 地域活動がコロナ禍以前に戻りつつある中、関係機関との連携のもと地域活動を継続するための支援の充実を検討いただきたい。 また、「中期経営計画2023」に基づき、安定した経営基盤の確立のための事業の財源確保や人材確保・育成など、今後を見据えた取組みを行っていただきたい。